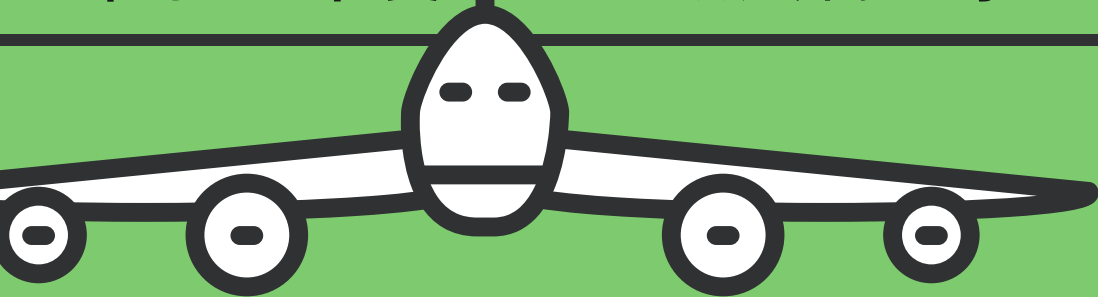


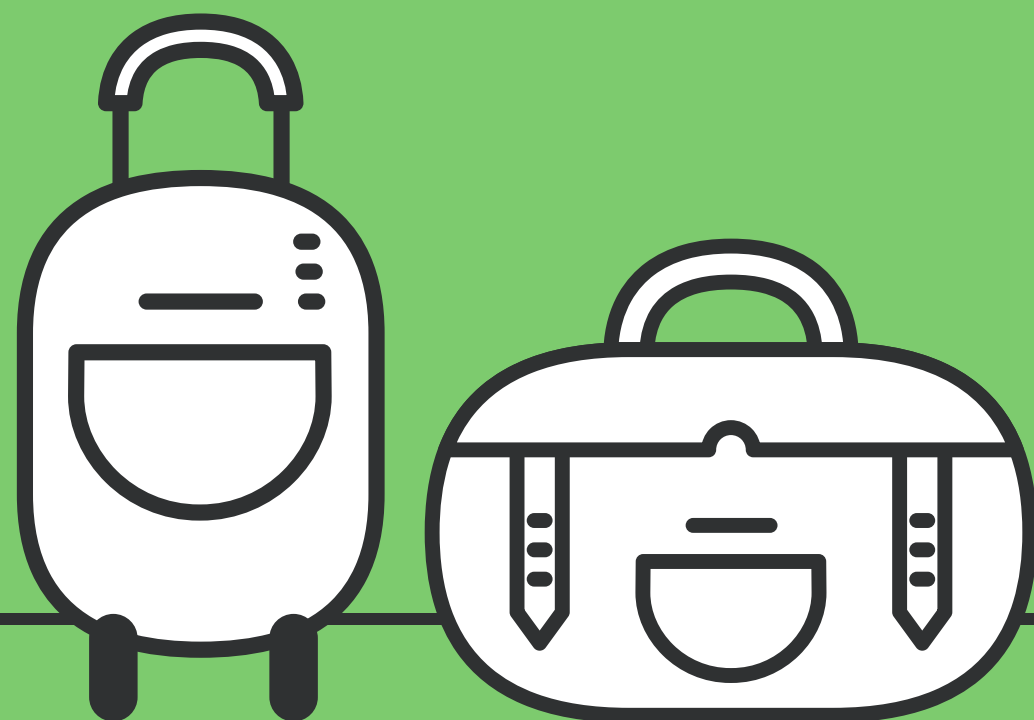
令和5年度 「地域共創型学生プロジェクト（ちゅらプロ）」



バリアフリーマップを発展させ隊プロジェクトin久米島
ーユニバーサルツーリズムを見据えた離島調査ー

最終報告

2024.3.5.Tue



バリアフリーまる



神里 響 (2年次)

人文社会学部
人間社会学科
社会福祉学コース

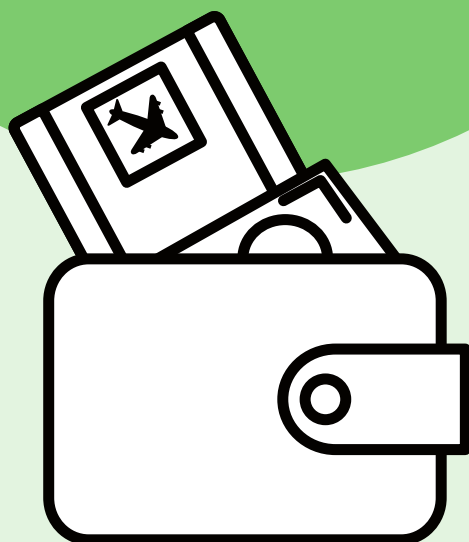
大川 ゆうか (2年次)

社会福祉学コース



- チーム紹介 -

バリアフリまーる メンバー



赤嶺 早紀 (2年次)

社会福祉学コース



古波藏天馬 (2年次)

社会福祉学コース

担当指導教員

波名城 翔 先生

社会福祉学コース教員

てんま



ゆうか

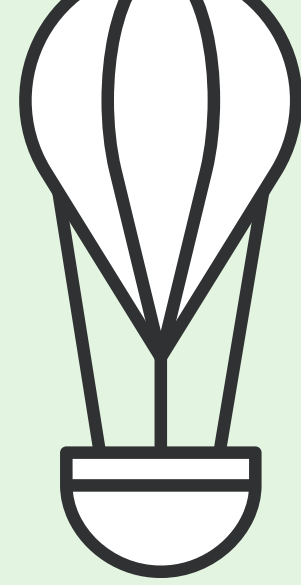
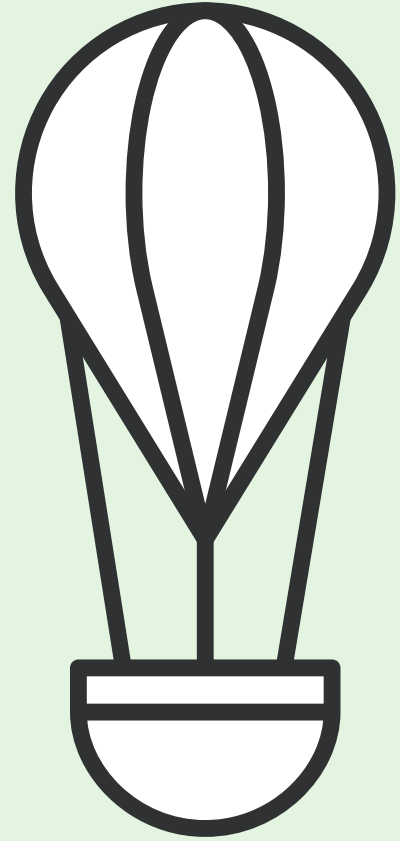


さき



ひびき

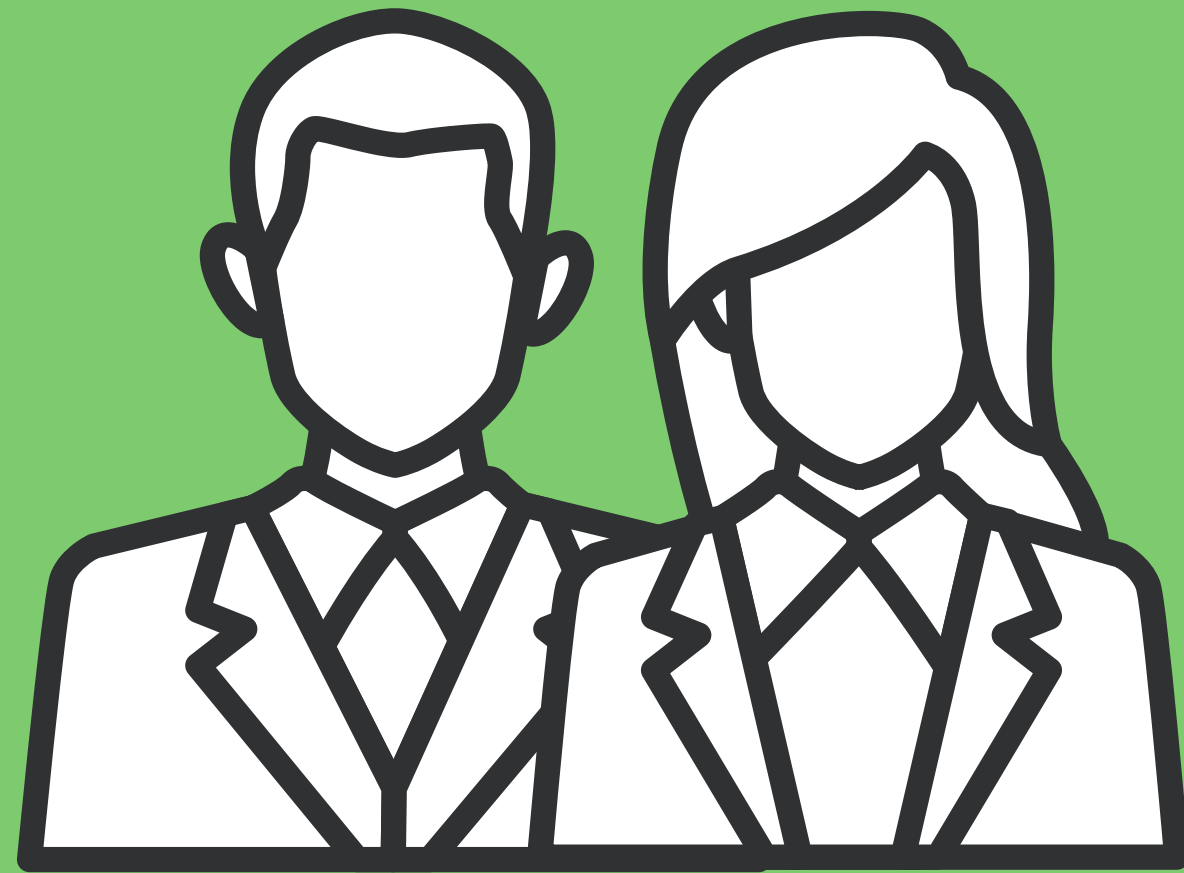




目次



- 00 プロジェクトを立ち上げた経緯・想い
- 01 プロジェクトの概要
- 02 久米島現地調査の報告
- 03 中間報告後の活動
- 04 調査結果と考察
- 05 活動評価
- 06 今後の活動予定・まとめと展望



BACKGROUND

00

プロジェクトを立ち上げた
経緯・想い



プロジェクトを立ち上げた経緯・思い

—久米島でバリアフリーの調査を決めた理由—

- ユニバーサルツーリズムに対する興味
 - 身体障がい者の方の話を聞いて
 - 車いすユーザーの受容の増加
 - 久米島に決めた理由
- ➡久米島にバリアフリーを設置することで得られる効果

この流れで説明します▶▶▶

ユニバーサルツーリズムとは



- すべての人が楽しめるように創られた旅行
- **高齢や障がい等の有無にかかわらず**、誰もが気兼ねなく参加できる旅行を目指す

実際には

- 観光地のバリアフリー調査と発信
- 祭りやアクティビティに誰もが参加しやすい工夫

などなど...

参考サイト：[ユニバーサルツーリズムについて | 観光産業 | 政策について | 観光庁 \(mlit.go.jp\)](https://www.mlit.go.jp/universal-tourism/)

身体障がいを持つ方のお話を聞くと...



①既存のバリアフリーマップは情報が正確とは限らない



②施設がバリアフリーに対応しているか、逐一直接確認する



③気軽に外出が出来ない

障害者差別解消法

- 不当な差別的取り扱いの禁止と合理的配慮の提供が目指される
- 令和6年度からは配慮が義務化

→これから**障害者の外出需要**が高まる

→バリアフリーマップの需要も高まるのではないかと

目的施設やその周辺にバリアフリー設備があるのか



日本の車いすユーザーの割合

- 日本には 400 万人を超える身体障害者が存在
- そのうち車いすユーザーは200万人
- 全人口の約1.6%を占めている
- 高齢化に伴い年々増加の傾向がみられる

要介護となり車いすとなった高齢者は、この体では「もう行きたいところには行けない」とあきらめる人も



久米島

選択理由

- ・ 離島 ⇒ 調査の区切りがつく
- ・ 予算内で行ける
- ・ 指導教員のツテがある
- ・ バリアフリーマップがある

障害者・高齢者の離島の観光需要

⇒ 足腰に障害がある
リハビリを兼ねた
マリンスポーツが人気

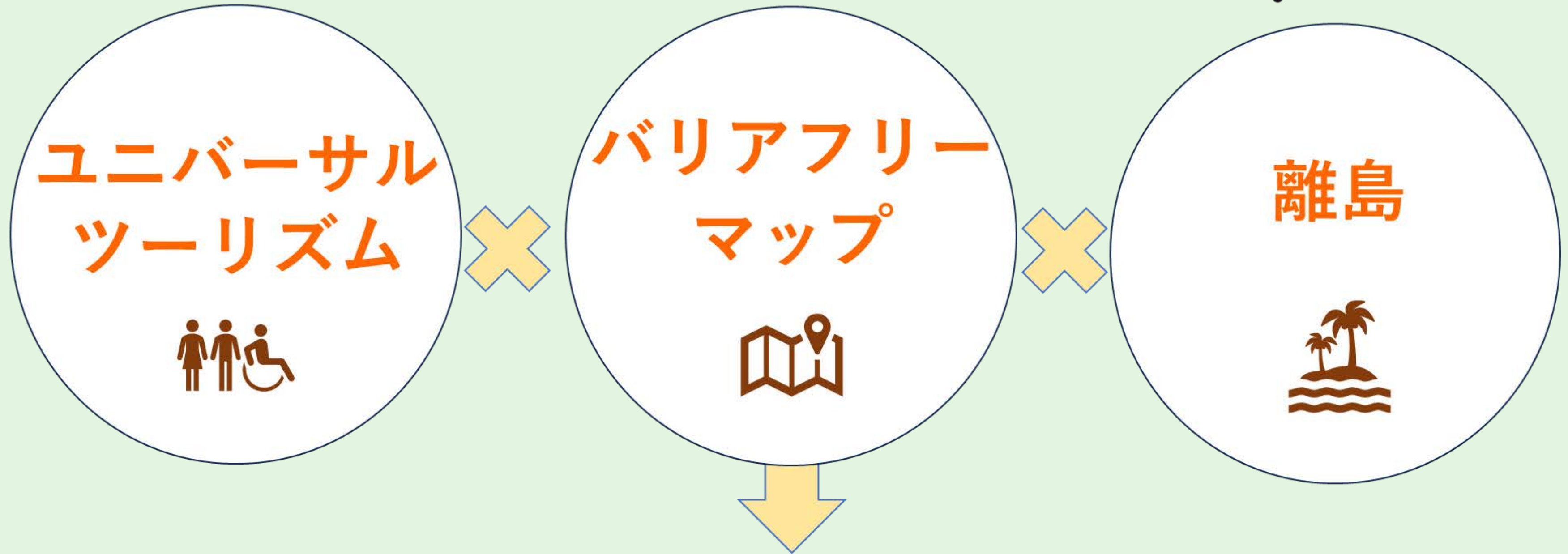


久米島のバリアフリーマップ



- ・ 公共施設のスロープやトイレの情報はあ
- ・ 飲食店や宿泊施設の情報を同時に見れたらより便利
- ・ 最新情報や現状が分かりにくい

活動の軸



身体障がいのある人が気軽におでかけできるよう情報発信を行う

期待する成果・効果

- 情報共有・認知拡大⇒久米島のバリアフリーが進む
- 高齢者や障がい者の利用が増えることでより離島観光が促進される
- 離島のバリアフリー観光の先駆的地域の一つとして注目される可能性
- 観光客だけでなく、地域の人にとっても暮らしやすい街づくりにつながる



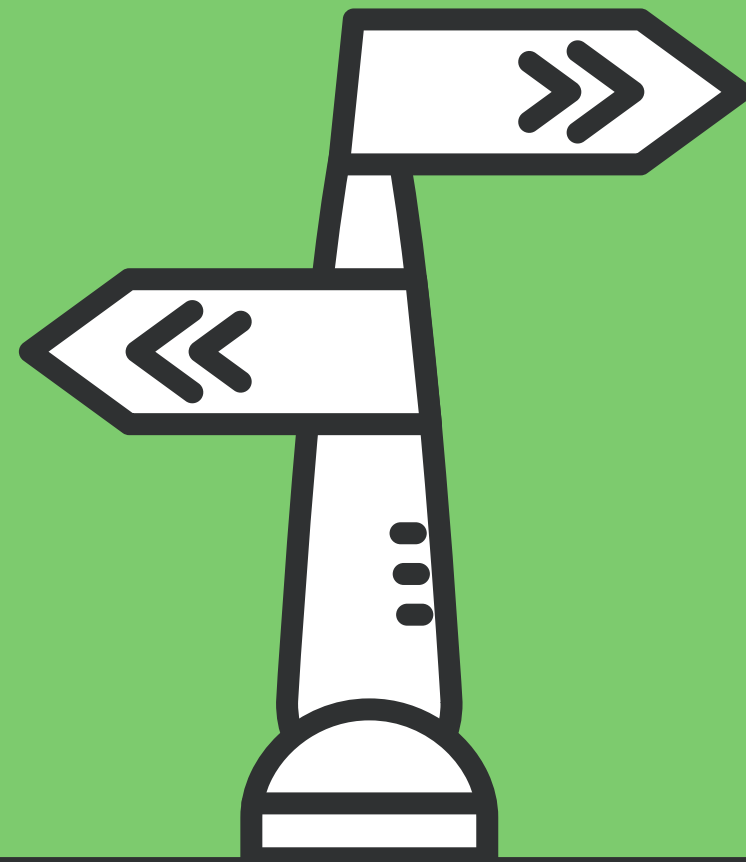
経緯・想いのまとめ

ユニバーサルツーリズムや、身近な身体障がい者の方の話を聞いて、
より様々な人が生き生きと人生を謳歌できるような
取り組みがしたいと思った

- ➡久米島はバリアフリーマップを制作・ホームページに投稿しているため、バリアフリーに前向きに取り組んでいると想定した。
- ➡離島という比較的狭いフィールドでバリアフリーを観光に取り組むとどのような効果が得られるのか、調査したい。

OUR PROJECT

01



プロジェクトの
概要

- OUR PROJECT -

バリアフリーマップを発展させ隊プロジェクトin久米島 ーユニバーサルツーリズムを見据えた離島調査ー

01

久米島のバリアフリー 状況を現地調査



久米島のバリアフリー状況について現地に赴き、実際のバリアフリーの視点も考慮して利用調査を行う。

02

バリアフリー情報の 更新・発信



01の調査をふまえて、バリアフリーマップアプリに情報を投稿したり、SNSやチラシなどを通して、情報の発信する。

FIELD SURRVEY

02



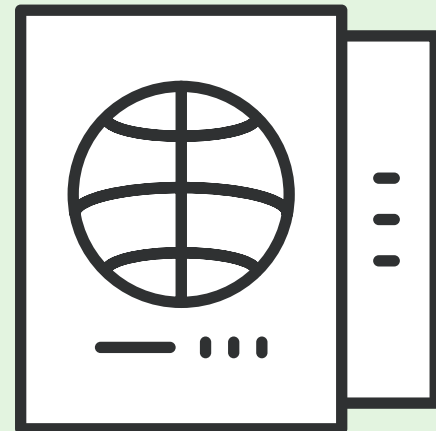
久米島現地調査の報告

- SURVEY SCHEDULE -

調査の日程

01

事前調査



8月15日(火)
ZOOMにて
久米島町役場、観光協会との
事前打ち合わせ

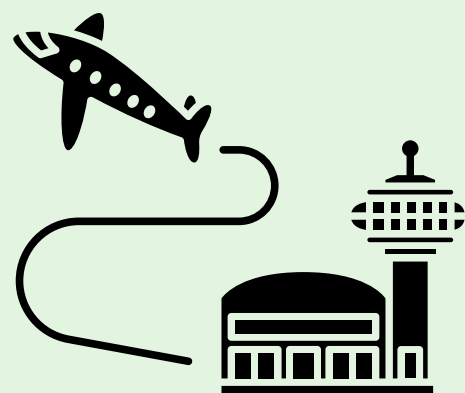
02

現地調査



8月22日(火)~25日(金)の3泊4日
事前打ち合わせ時に決めた
飲食店、宿泊施設、公共施設を
中心に調査

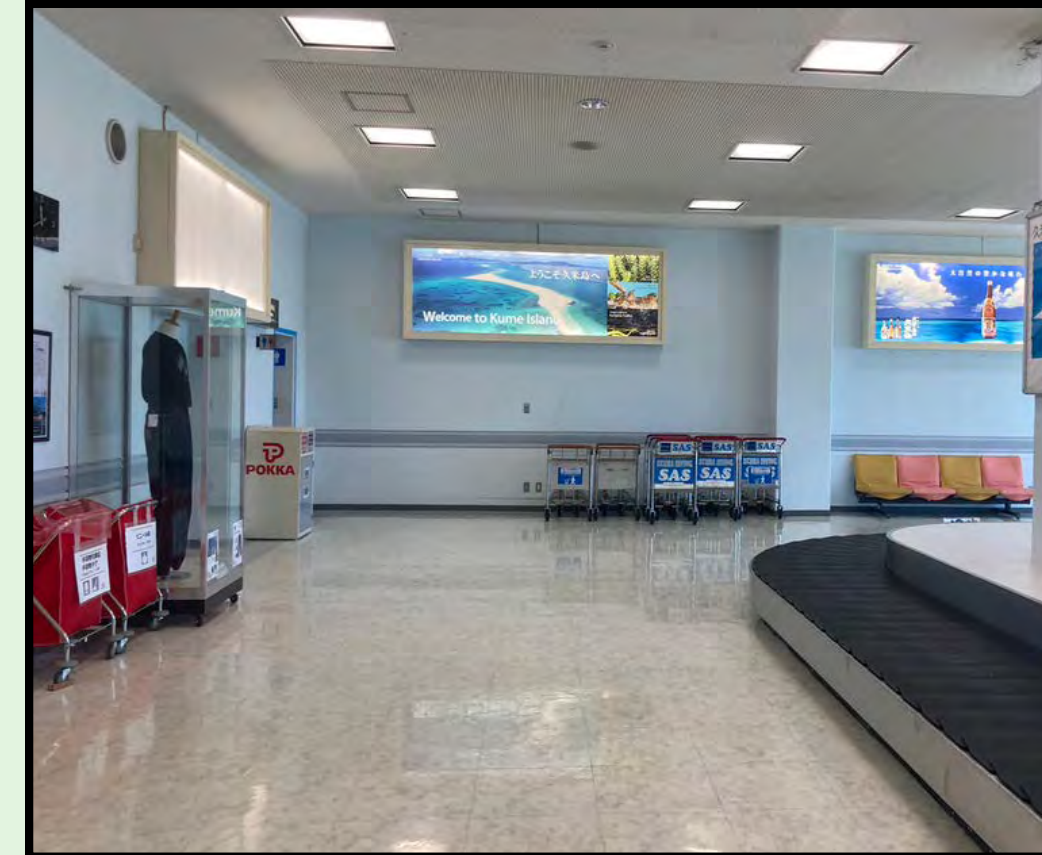
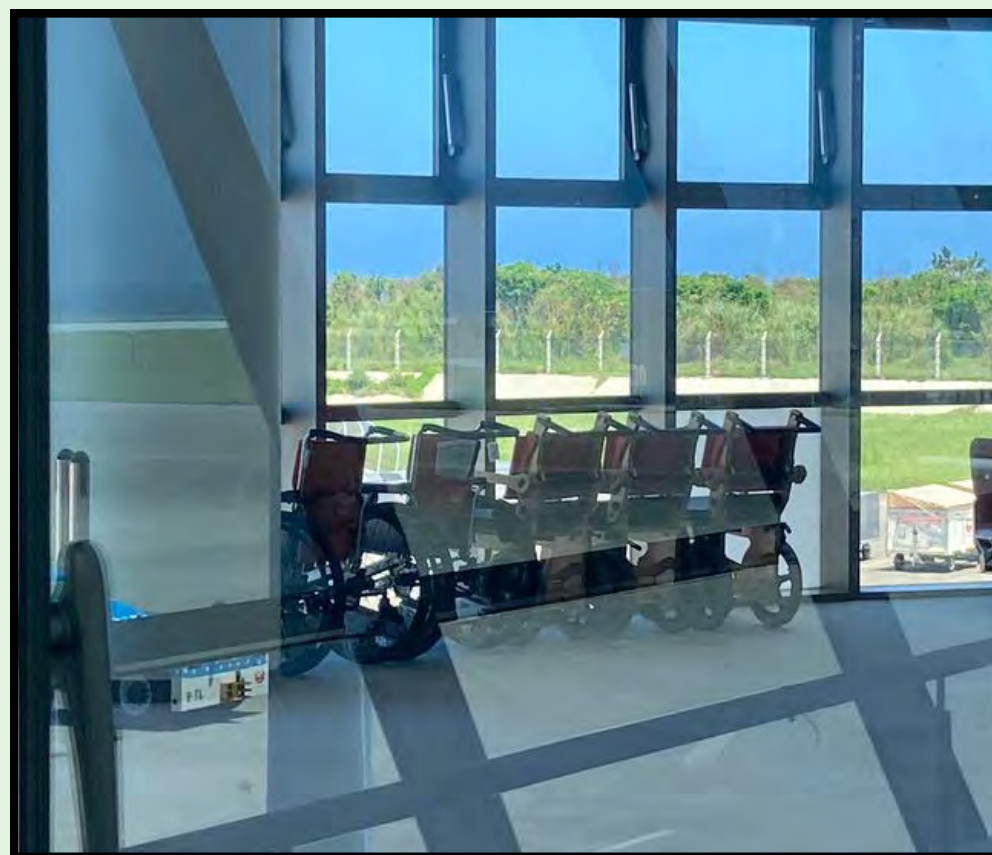
<p>公共施設 21件</p>	<p>久米島空港、久米島商船、久米島町役場、久米島観光協会、 イーフビーチ、久米島博物館、ほんのもり、ウミガメ館、畳石、 鳥島公民館、フクギ並木、ゆいまーる館、比屋定バンタ、宇江城城跡、 ミーフガー、具志川城跡、久米島ヤジャーガマ洞窟、久米島おばけ坂、 シンリ浜、アジマー館、久米島ホテル館</p>
<p>飲食店 13件</p>	<p>YUNAMI FACTORY、波路、レストラン アカバナ、笑島、レストラン竜、 宮田商店、くめじまーるカフェ、鳥島&早苗丸、 がーでんきっちゃん&かふえ城、ちいとう福屋みそクッキー製造所、 泊フィッシャリーナ売店、久米島漁協直営店くみマルシェ、助ろく</p>
<p>宿泊施設 4件</p>	<p>民宿シーサイドハウスジュゴン、ホテルガーデンヒルズ、 旅宿なんくるないさあ、サイプレスリゾート久米島</p>
<p>打ち合わせ 3件</p>	<p>久米島町役場(福祉課、観光商工課)、久米島観光協会</p>

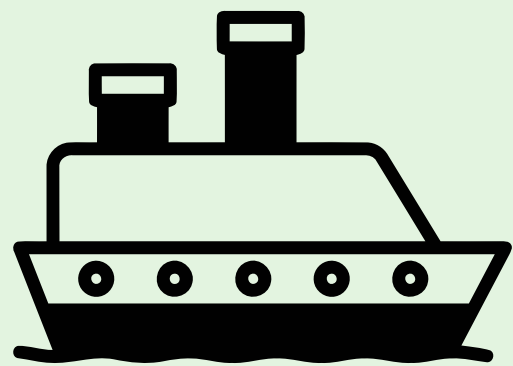


久米島空港

RACのジェット旅客機での離島着陸

↓車いすが常備されている ↓出入り口が自動ドア・点字ブロック ↓フロアが広々





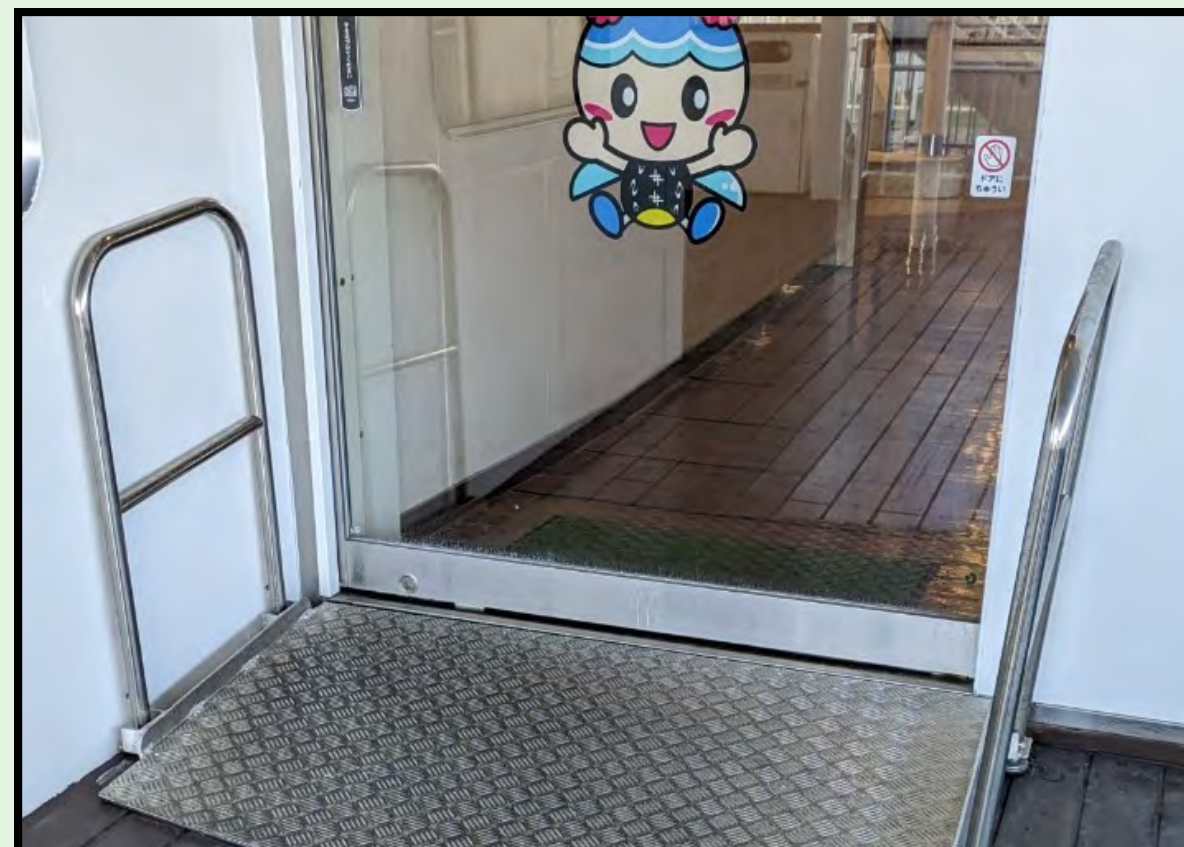
久米島商船

本島への一般的な交通手段

↓ 船の外観

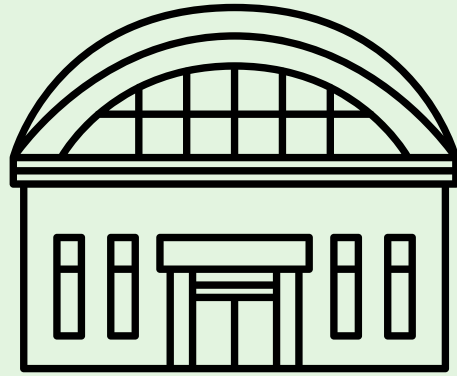


↓ 船内の自動ドア・スロープ



↓ 手すりに点字





久米島町役場

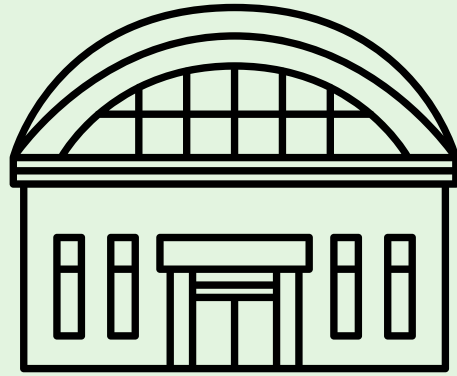
久米島町役場の
職員さん

🔊 × 聴覚障害を持つ安里さんへのインタビュー



- 手話通訳者を育成しても、島の外に行ってしまう
- 人材のバリアフリーだと、申し訳なくて利用しにくい時がある
- 聴覚障害があると、**人とのつながりが断絶**される

➔ **バリアフリー設備の整備も大切だけど、
人とのつながりが最も大切**



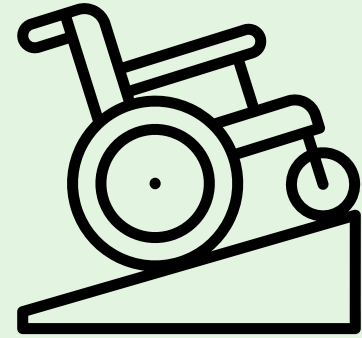
久米島町役場



視覚障害を持つ奥間さんへのインタビュー

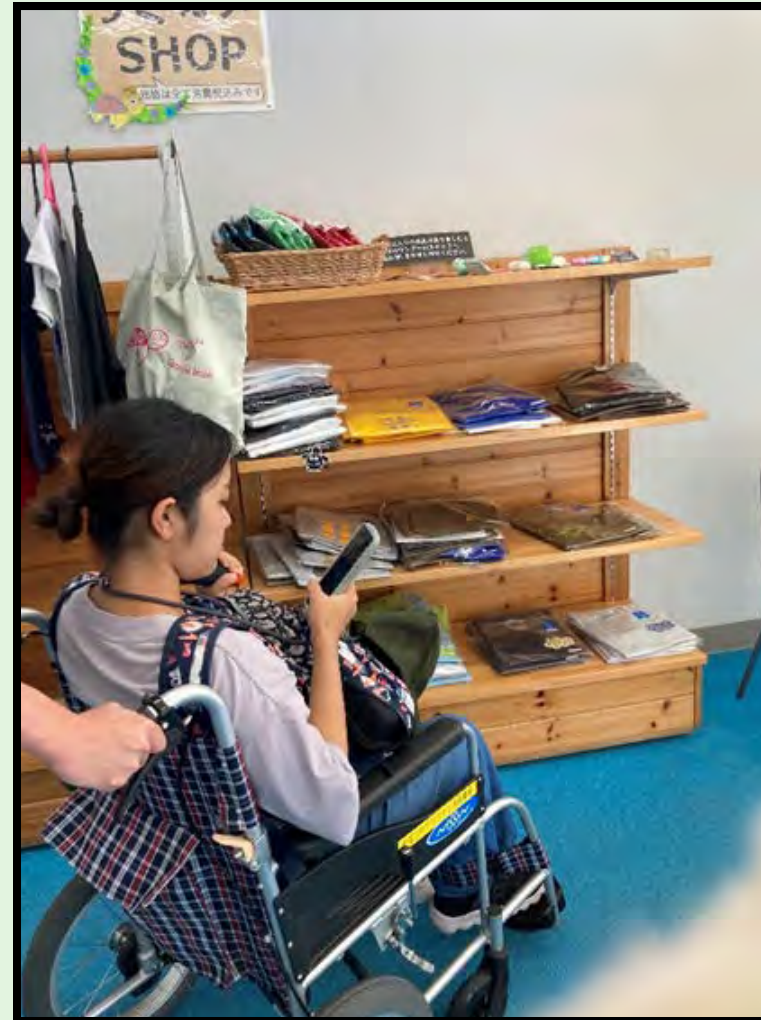


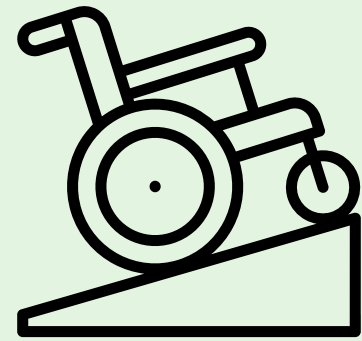
- **人が助けてくれる**から、バリアフリー設備が無くても問題ない
 - 通院も送迎があるから問題ない
 - 点字ブロックの摩耗、障害物、道路のへこみは何とかしてほしい
- ➔ **島に住んでいる人は人とのつながりがあるため、
そこまでバリアフリー設備の少なさを問題視していない**



車いす走行ログ

WheeLog! への投稿





車いす走行ログ

WheeLog! への投稿



OUR BUSINESS

03



中間報告後

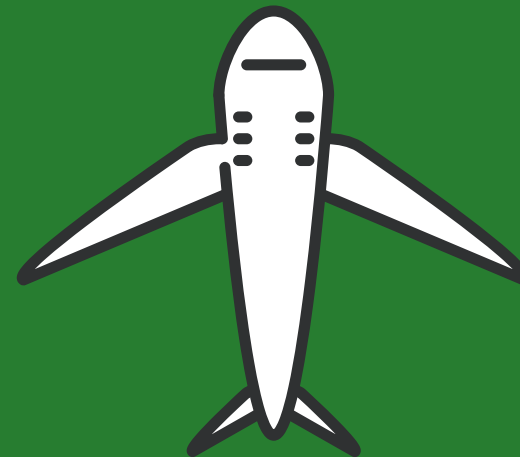
中間報告後の活動

WheeLog!、Instagramへの
投稿



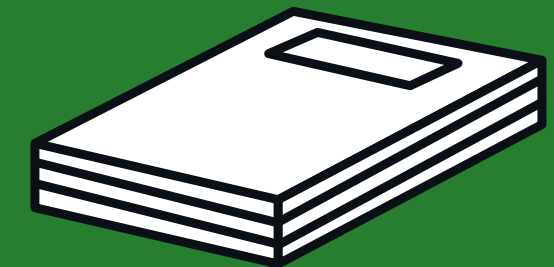
10月～3月

JTAの
本社訪問

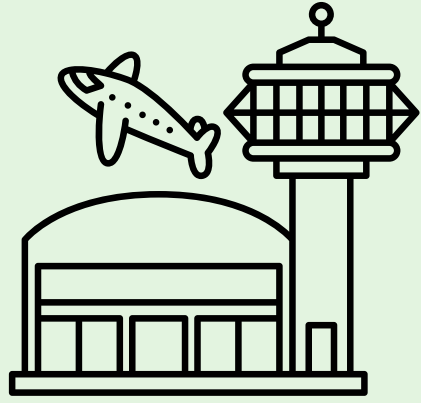


12月5日

成果報告
準備



2月～3月



JTAにインタビュー

- ・ **申請があれば、サポートしていただける。障がい者以外への配慮もあり、心理的なバリアフリーが整っている。社内の研修もあるそう。**
空港内のスタッフが配慮を必要とするお客さんを見つけて、サポートする場合も。
- ・ **飛行機1機につき、乗れる車いすユーザーの数が限られている。**
付き添いの有無でも数が変動する。知的障害を持たれている場合には、自分の身の回りのことが1人でできることが1人で乗る場合の条件。
- ・ 一部のスタッフが手話奉仕員の資格を取り勤務している（聴覚障害に対応）

など

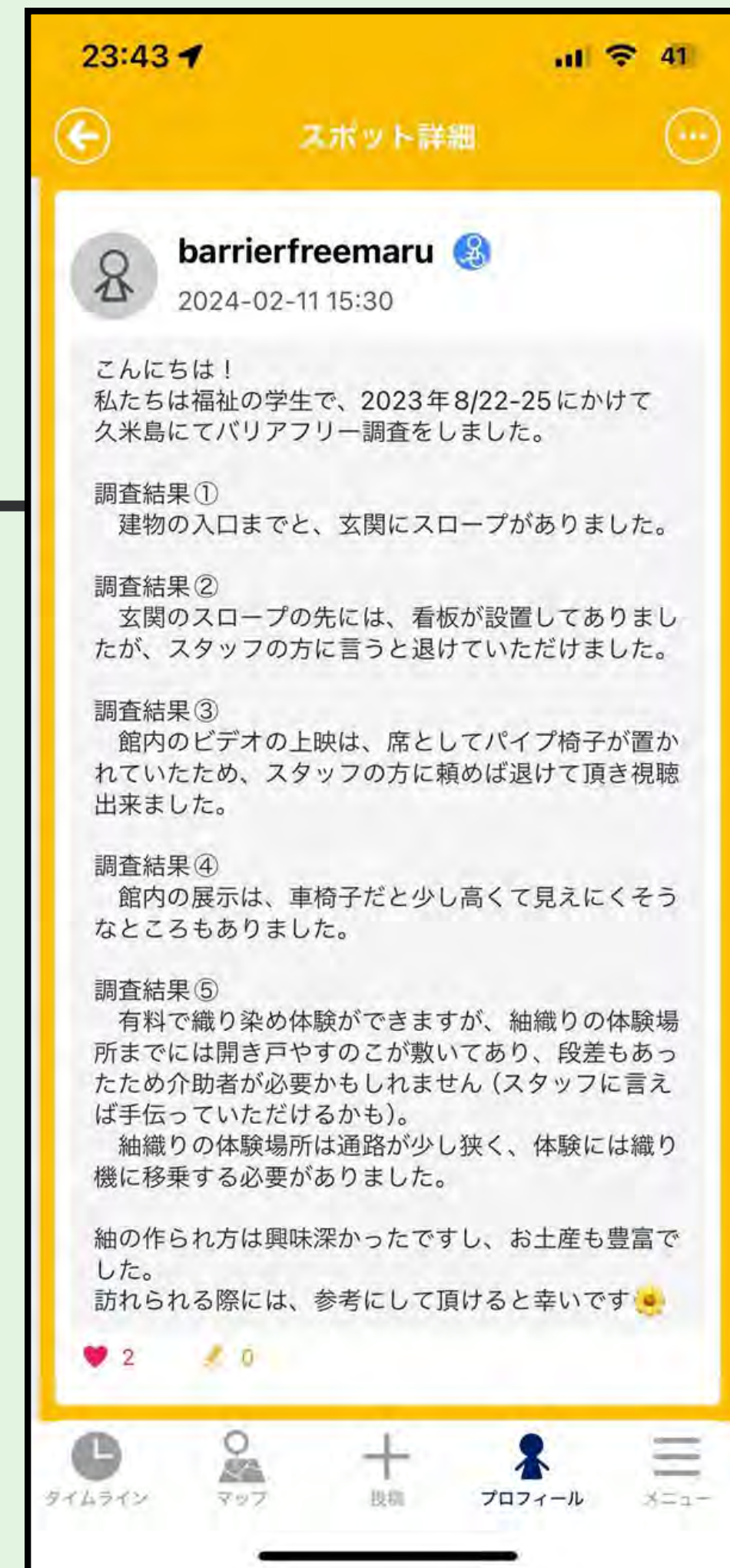


WheeLog! への投稿

実際の投稿例 →

WheeLog! の評価基準に加え、
文章として
現地調査でどのようなことが分かったかを投稿。

→ 今後、Instagram の画像も添付予定

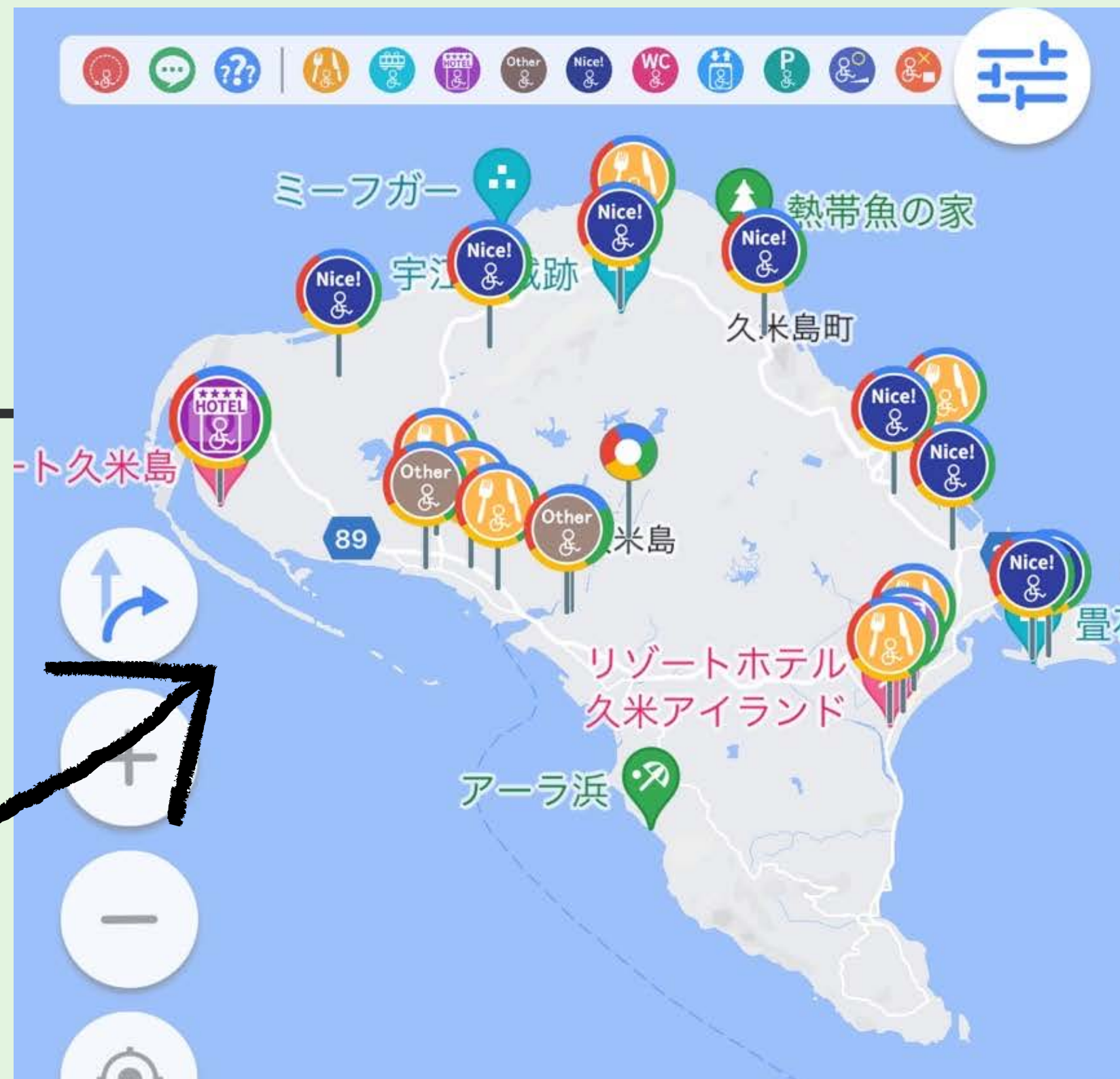




WheeLog!への投稿



バリアフリまーるの投稿前
(イメージ)



バリアフリまーるの投稿後 (2/22現在)
現在久米島の**21地点の情報**を投稿
(今後追加で投稿予定)



Wheelog! から 久米島を検索してみよう!

① Wheelog! を検索

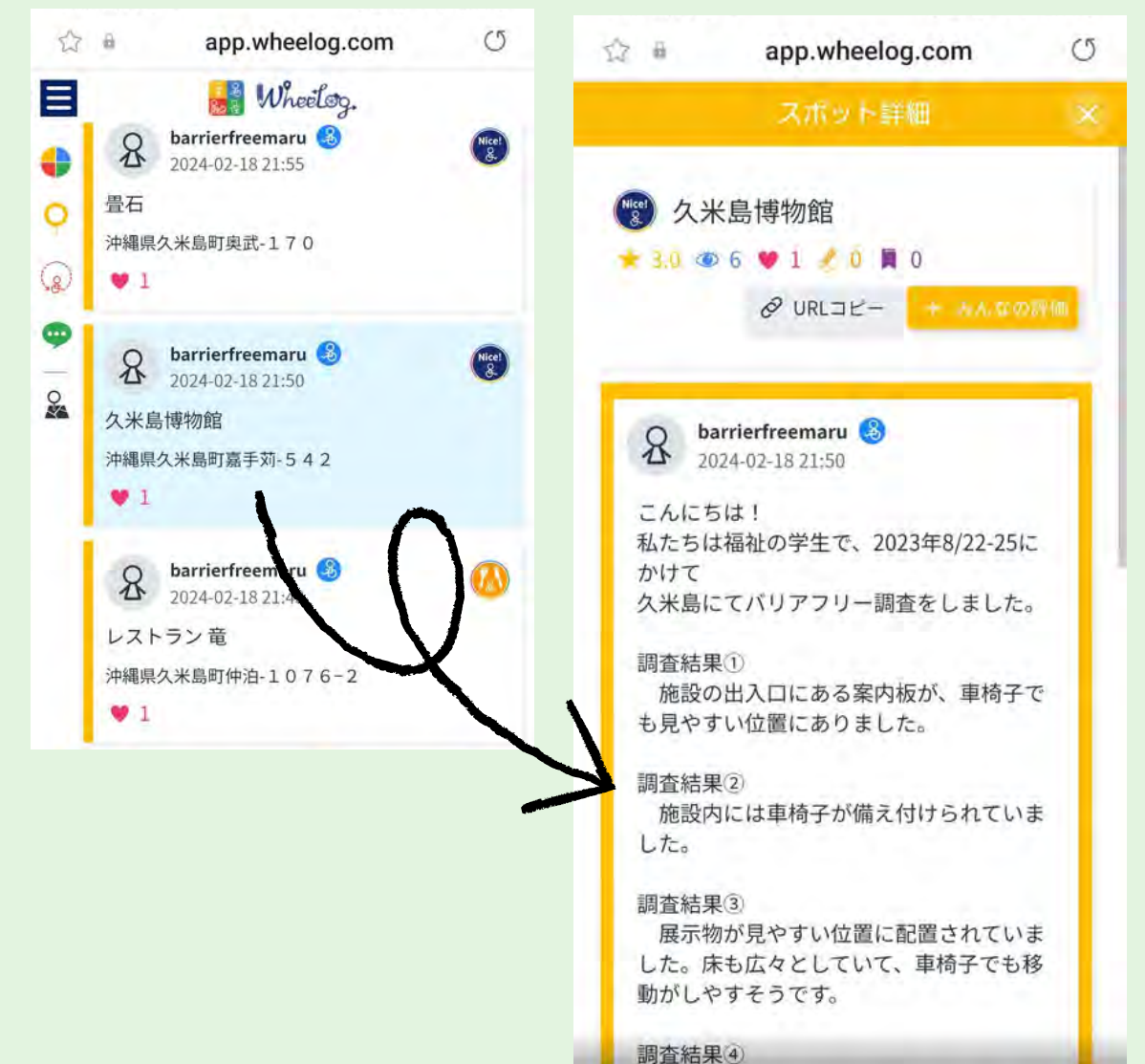


URL : <https://app.wheelog.com/>

② 「久米島」と検索



③ 気になる施設を 見てみよう





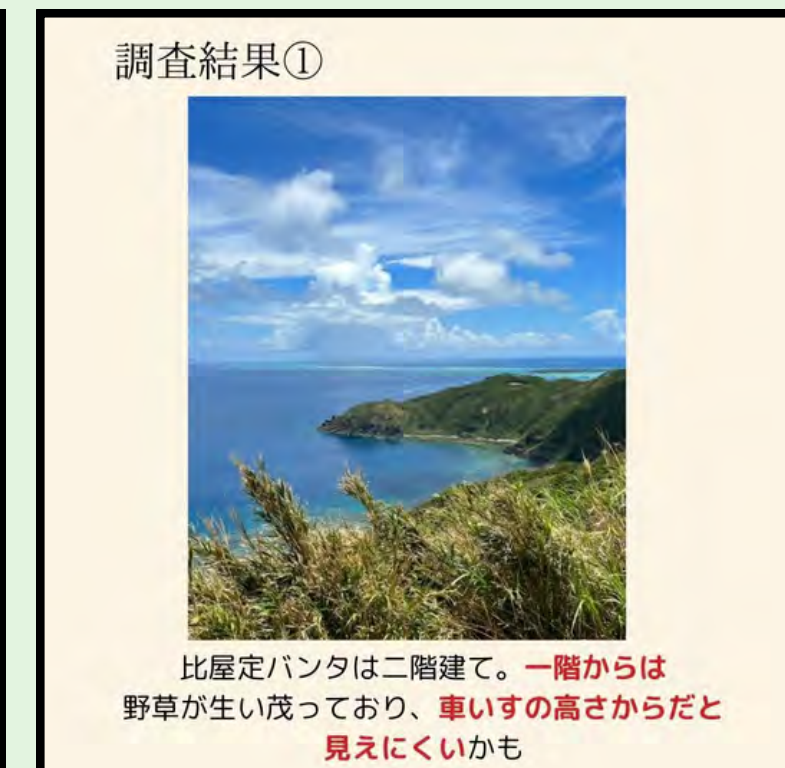
Instagramへの投稿

投稿内容の例 →

調査に伺った先で**撮影許可を
いただいた施設**については
Instagramを通して調査内容を
発信している

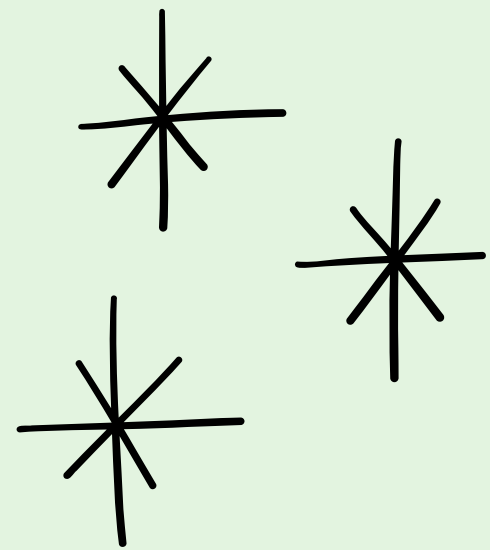
※評価はあくまで車いすの素人目線

→写真や動画を交えて説明をすることで、車いすに慣れていない人もそうでない人も自己判断の材料になるのではないか





バリアフリーまーるの Instagramはこちら



@BARRIER_FREE_MARU

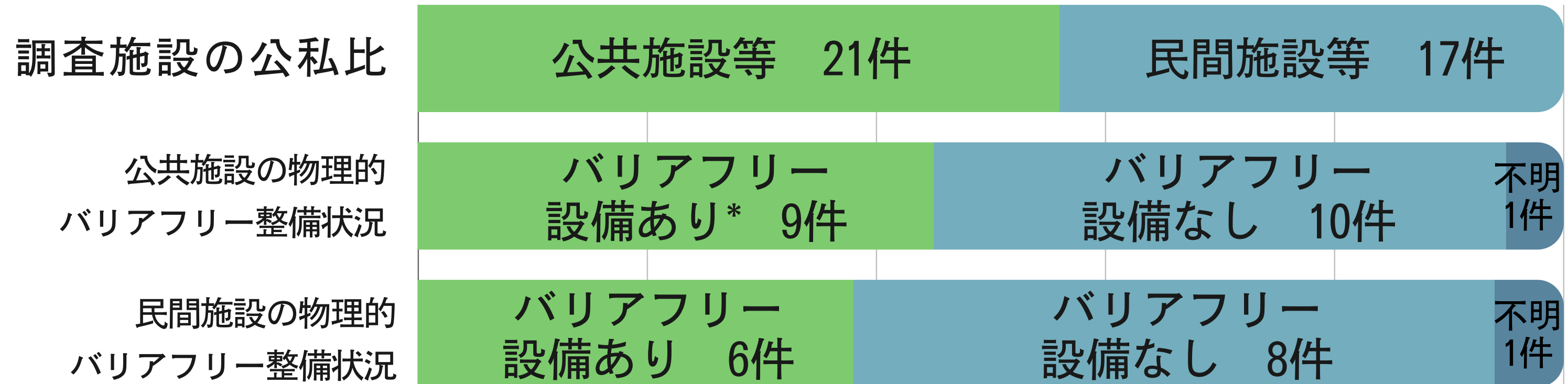
アドバイスや意見があれば、
投稿のコメント欄やDMなどで
いただけると幸いです。



RESULT & THOUGHT
04

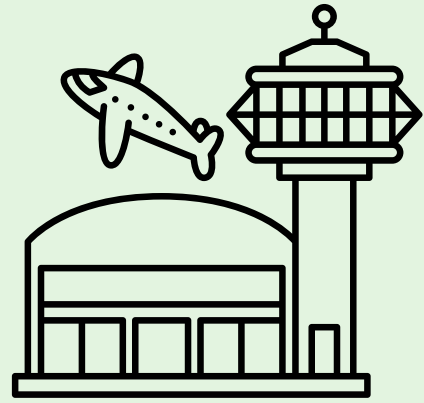
調査結果と考察

調査結果



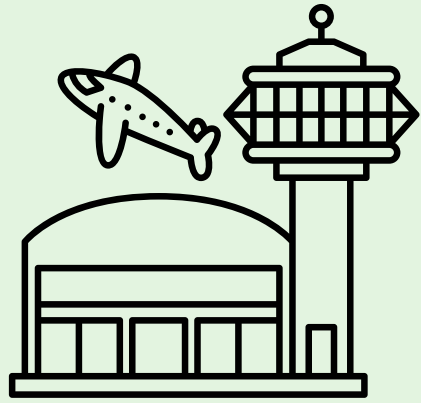
*現地調査で訪れた施設のうち、何らかのバリアフリー設備があるか、という視点で整理した。
ここでいうバリアフリー設備とは、スロープ、障がい者用駐車場、多目的トイレのいずれかを指してる。

- 物理的バリアフリー整備の無い施設も、従業員の心理的なバリアフリーが整っているところが多かった
- 無人の公共の観光場所についてはスタッフの介助が見込めない



バリアフリーにおける久米島のいいところ👍

- ・ 設備的にバリアフリーでなくても、人の手を借りれるような環境が整っている。
申し出れば手伝えるという人が多かった。
- ・ ほとんどのお店が電話予約制であった。
→ **電話の方が、配慮が必要な時に申し出やすい**のではないか。
- ・ 足腰に不安のあるような高齢者の方々が利用することも多いと予想されるため、車いすユーザーのお客さんが来たとしてもあまり抵抗がないのではないか。
- ・ 障害を持っていたり、足腰が弱くても、日常生活においては**人とのつながりによって補われている**。



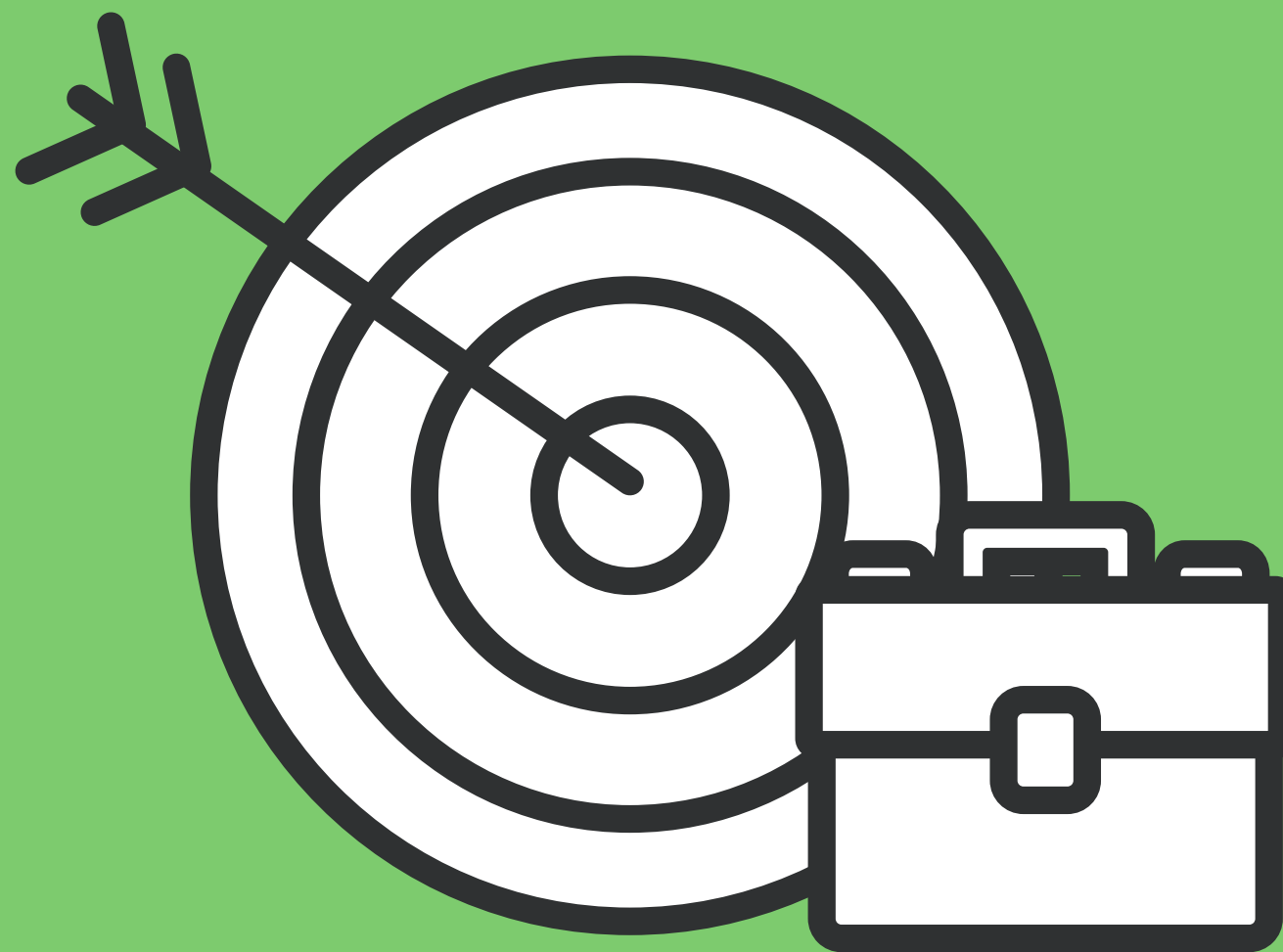
久米島のバリアフリーにおける課題👁️👁️

- ・ 久米島の中で（住民と観光客を合わせて）需要がどれほどあるか。
→バリアフリーの整備を進めても、**それほど必要がない可能性も。**
- ・ 観光で特に需要のあるバリアフリー設備であるので、島の人々の暮らしが優先となっており物理的な整備が進まない（住民の需要がそれほどない）
- ・ 歴史的な建物（グスクなど）は国指定史跡になっており、バリアフリー設備を整えることが難しい。
⇔文化庁文化財部の「文化財の活用のためのバリアフリー事例集」には首里城をはじめとする文化財のバリアフリー整備について言及されており、大きな需要があることで誰もが楽しめるものであることとして成り立っている。（整備コストなど）

ASSESSMENT

05

活動評価



調査対象に対する評価



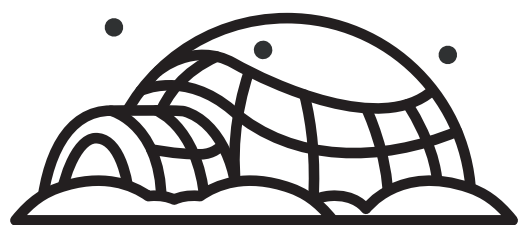
バリアフリーの需要がないと、、、

バリアフリーの**需要が無いと、物理面の整備を進めることは難しい**



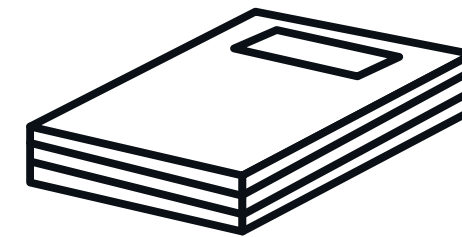
物理的な整備はなくても

物理的なバリアフリーの設備が無くても、お店の方などに声をかければ手伝ってもらえるという、**心理的なバリアフリーの状態**であった。



島の暮らしを良くしようという考えがある

久米島は、バリアフリー化の為に整備するというよりも、**誰もが暮らしやすいまちづくり**を目指している。その一つ的手段として公共施設のバリアフリー化が進められている。



各地で聞き取り調査もできた

役所の職員の方や現地で暮らす障害の方にお話を伺った。また各地で取り組みについて説明すると様々な話を聞くことができた。**出会いに恵まれた。**

行動に対する評価



移動手段について

予算の関係上レンタカーが一台となり、また久米島が移動に車を要したため、二手に分かれて調査ができなかったため**効率的な調査ができなかった。**



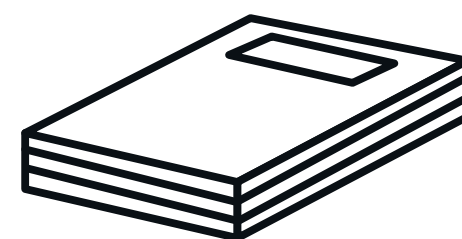
調査の基準について

調査において、車いすユーザーの方などから話を聞き、車いすで利用しやすい条件など**調査における指標を用意しておく必要があった**



予定通りにいかなかった

急遽お話を聞く機会が設けられたり、予定よりも調査に時間がかかったりと、予定通りにいかないことが多くあった。

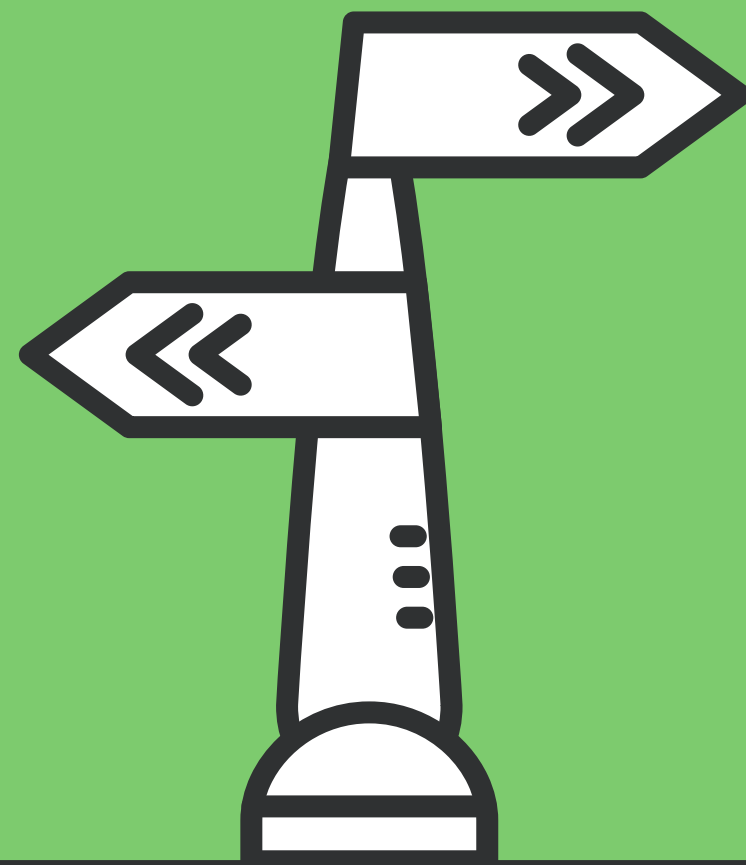


健常者による調査の限界

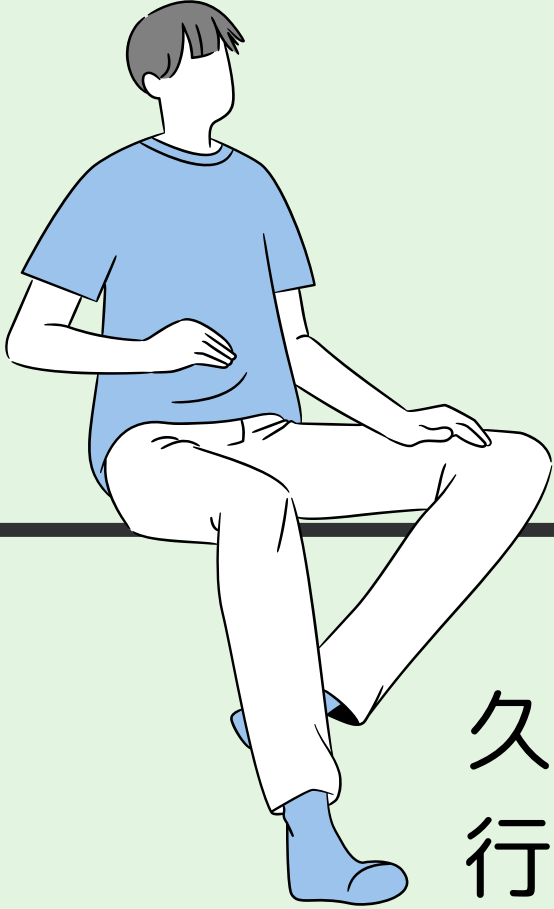
普段車いすに乗ったことのない人の調査はどこまで信ぴょう性があるのか。**日常的に車いすを使用している人も調査に参加してもらう必要があった。**逆に、経験が浅い人や、介助が前提の人には参考になるかも。

OUR FUTURE

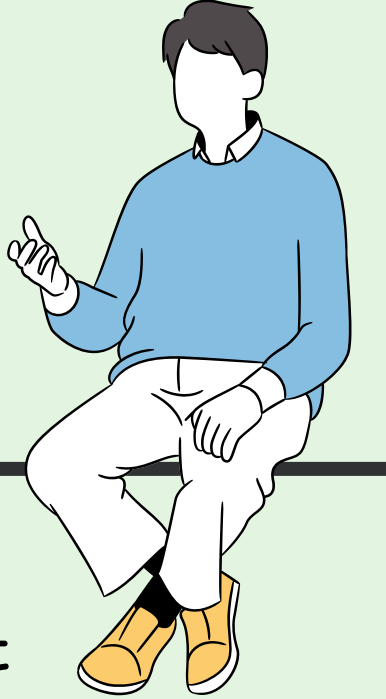
06



今後の活動予定
まとめと展望



久米島町役場へのフィードバック



久米島町へ現地調査の結果やSNSへの投稿についてフィードバックを行う予定でしたが、日程が合わず未実施。SNS投稿ができ次第実施予定。
(3月末までを予定)

具体的には

- ・ 現地調査で判明したバリアフリー設備の現状について報告
- ・ 公的に管理されている場所などは、具体的な改善案を提示
- ・ インターネットを使用しない人に向けたバリアフリー情報の発信について
など

まとめ



離島ではハード面の設備を用意することが難しい

- 他者に迷惑をかけないか心配
→ バリアフリー設備が整っていたとしても**生き生きとした旅行ができない**
- 離島では、バリアフリー設備を設置する予算もメンテナンスして維持する費用もなかなか取れない
- 観光客数増加を狙ってバリアフリー設備を新たに設けても効果が見込めない

しかし、離島の強みは！！！！

- 人と人のつながりが強い
 - 観光客数も緩やか
- ⇒ 客一人に対して手厚い対応がしやすい

離島ならではのこの**ソフト面**をSNSなどを通して発信していく事で、障害のある方でもユニバーサルツーリズムを楽しむことができるのではないかと

→ 実際に従業員の方に介助してもらったり、
ところどころを動画に撮るなど工夫する

今後の取り組みの展望①

? Point 

バリアフリーにおいて、ソフト面の補完で、ユニバーサルツーリズムは実現するのか？

車いす利用者の離島ツアーの計画・モニタリング

- ① 今回の調査をもとに、車いす利用者に向けたツアーを組む
- ② 車いす利用者と同行で調査する



- ソフト面で補えるのか
- 他に必要な設備は何か

今後の取り組みの展望②

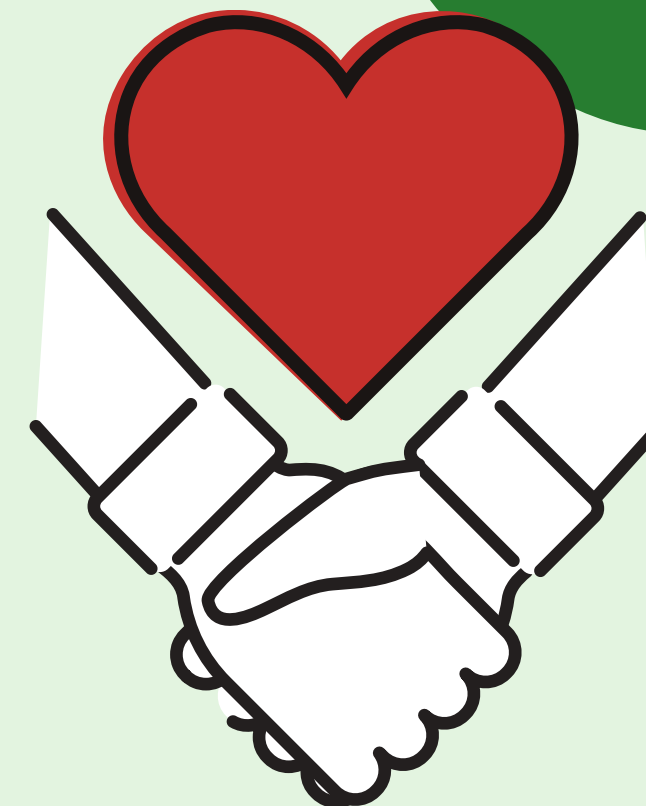
? Point 💡

「**需要があれば供給したい**」という声に対して民間がバリアフリーに踏み切るためには？

クラウドファンディングで需要と供給を図る

- ①バリアフリー化への**需要の声**を集めて、
お店に**フィードバック**
- ②クラウドファンディングで改修費を募り、
返礼品を**施設の利用券**や**宿泊券**にする

→ **需要を保障** & バリアフリー化 **供給を後押し**

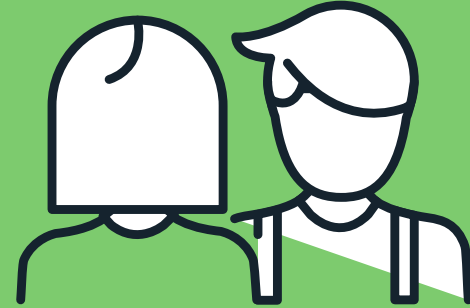


“供給するときの需要が
确实であってほしい”

今後の取り組みの展望③



車いす利用者が
楽しめるツアーを
組み、提案する



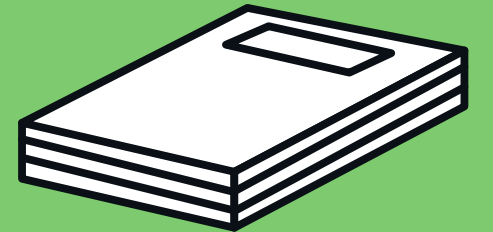
実際に車いす
利用の方と
ツアーに参加する



ソフト面の補完で
旅行を楽しめたか
改善点のフィードバックを
受ける



改善資金のために
クラウド"ファンディング"を
計画・実施する

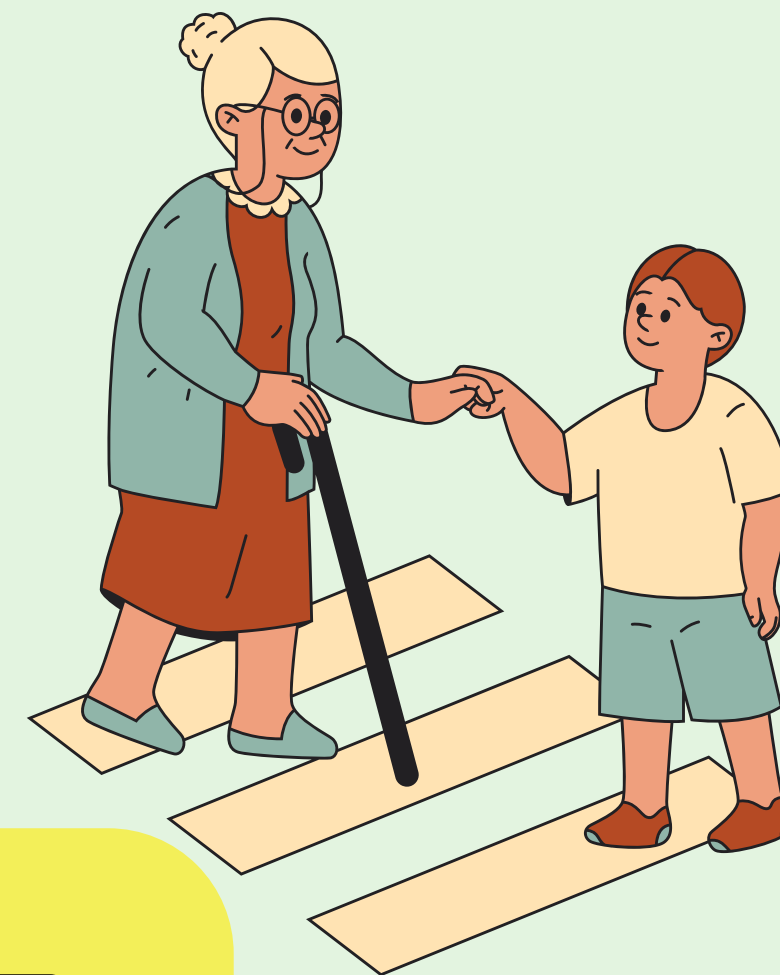


改善したツアーを周知し
需要を高めるために
雑誌を作る

今回のプロジェクトを通して

- 観光となると、特に民間のお店などは、
実際簡単に設備を整えることは難しいケースも多い
- 障害者だけではなく、「誰もが住みやすいまちづくり」を掲げることで、
自分もその輪に入れることができ、自然とお互いを思いやれる
- 人がいるから支えてくれたり、悩みを打ち明けることができる。
人とのつながりがもっとも大切である

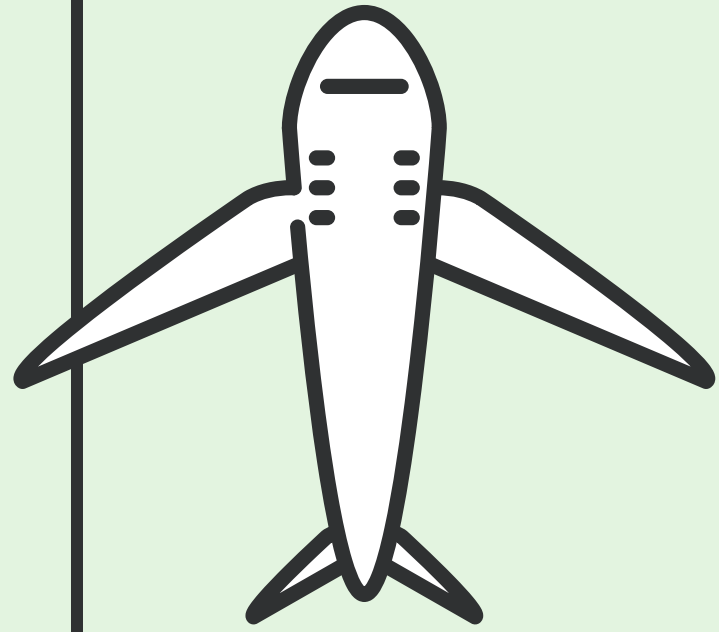
**人とのつながりを大切に、ソフト面も視野に入れて
合理的配慮を取り入れていく必要がある**



バリアフリーをゆいまーるで築く

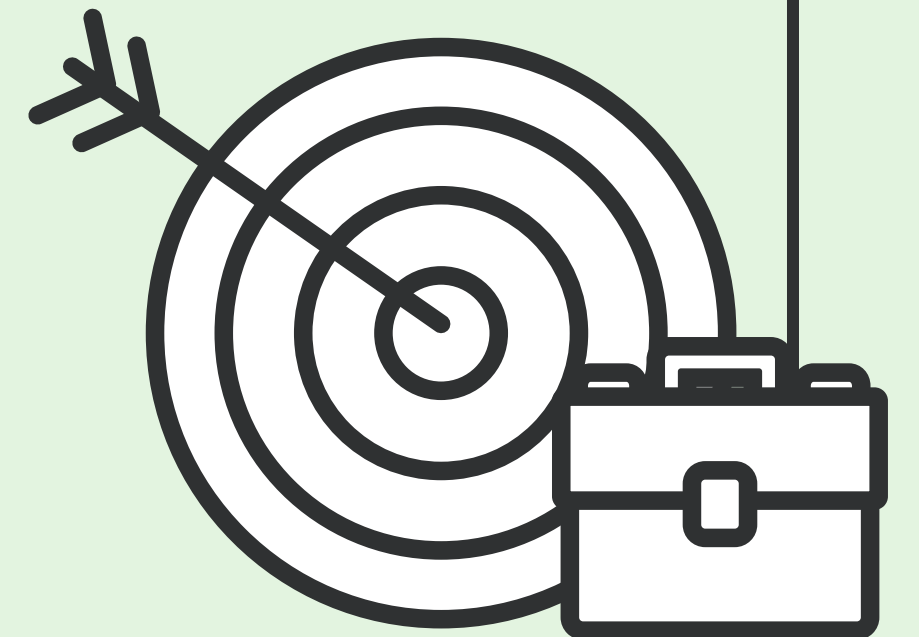
バリアフリーまーる

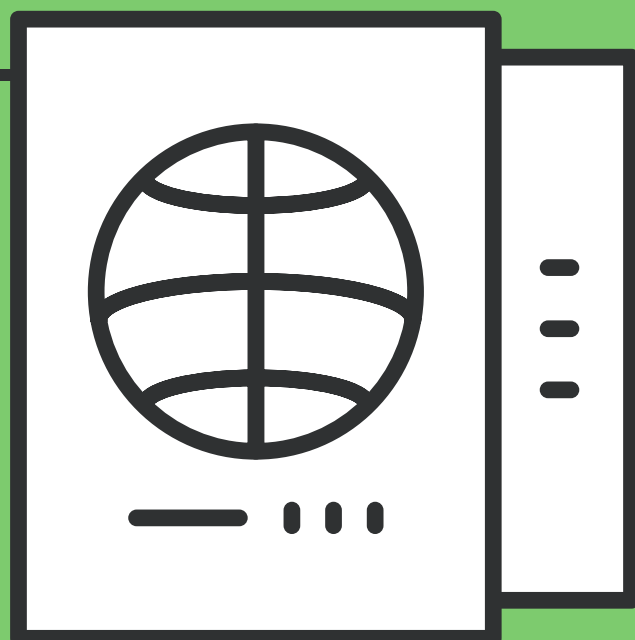




参考文献

- 文化財部「文化財の活用のためのバリアフリー化事例集」文化庁
- 国土交通省 観光庁「ユニバーサルツーリズムについて」
<https://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/sangyou/manyuaru.html>（参考日2024/3/3）。





ご清聴ありがとうございました

